

不安を抱える女性への寄り添い相談支援事業【群馬県】

個別事業費	14,999 千円
交付金額	10,125 千円

地域の実情と課題

【実情】

- ・群馬県では非正規で働く女性が多い。
- ・女性DV相談件数が増加傾向にある。
- ・不安や困難を抱える女性が依然として多い。

【課題】

- ・女性が抱えるさまざまな不安や困難を解消するための支援が必要
- ・根深く残るジェンダーバイアスの解消の取組

目的・目標

【目的】 困難な問題を抱える女性の心身をケアし、相談をきっかけに最適な支援機関につなぐこと、また、女性が地域から孤立しないよう中長期的に関わりを持ち続け、安心できる居場所や仲間づくりの場を提供することで、問題の解決に導く。

【目標値及び実績値】

- ・対応した相談者数(延べ数) 目標値:1,600人、実績値:1,216人
- ・対応した相談者数(実数) 目標値: 200人、実績値: 213人

事業の特徴

- ・事業実施期間 令和6年4月～令和7年3月
- ・県内を3地域(中北毛・西毛・東毛)に分けて、女性支援に実績のあるNPO法人に委託し実施
- ・電話相談に加え、SNSやメール、来所相談を受付
- ・訪問支援や市役所等の手続きのための同行支援
- ・ワークショップなどによる居場所づくり(管内市町村との連携含む)
- ・相談員のスキル向上や人材育成・養成のための研修

連携団体

・「群馬県女性相談支援ネットワーク会議」(「ぐんま・ほほえみネットワーク会議」)の構成団体

社会福祉協議会、子ども食堂ネットワークぐんま、市町村、県女性相談支援センター、民間DVシェルター、県男女共同参画センター、県こころの健康センター、児童福祉課(児童相談所所管)、国労働局職業安定課、ハローワーク、委託先NPO法人

事業の効果

・事業目標の達成状況

本事業で対応した相談者数(延べ数)1,216人

本事業で相談対応した相談者数(実数)213人

・事業の効果

受託NPO法人3団体とも、法人の持つ知見を活かし、行政では手が届きにくいきめ細かな相談を実施することができた。

団体のリソースを活かしたアウトリーチ支援、同行支援、居場所づくりの提供を行うことができた。

今後の課題

・困難を抱えていながらも、相談手段を知らない、支援が必要であることを認識していないなどの状態にある女性は依然として多いため、当該事業をより多くの方に知ってもらう必要がある。

・委託団体をはじめとする相談事業に取り組む民間団体が、自立した活動を継続して行うための人材確保や、相談体制のさらなる充実を図るための連携先拡充を目的として、周知広報に取り組む。

事業の概要

不安を抱える女性へのつながりサポート相談支援「ぐんま・ほほえみネット」

女性に寄り添った相談

○委託期間

令和6年4月～令和7年3月

○ONPO法人等へ委託

- ・電話やSNS・メールによる相談、アウトリーチ、同行支援
- ・ワークショップなどによる女性の居場所の提供
- ・ちらしやカードによる相談支援の周知広報
- ・生理用品を相談者に無償配布
⇒ 女性用品等の配布をきっかけにして支援につなげる
- ・相談員のスキル向上や人材育成・養成のための研修会実施

(周知カード・ちらし)



全県配布ちらし（県作成）



ぐんま・ほほえみネットネットワーク会議

○会議内容

- ・委託先NPO法人の活動状況報告
- ・関係機関からの情報提供
- ・事例紹介
- ・課題解決へ向けた意見交換等情報共有



(活動状況報告)



(関係機関情報提供)

